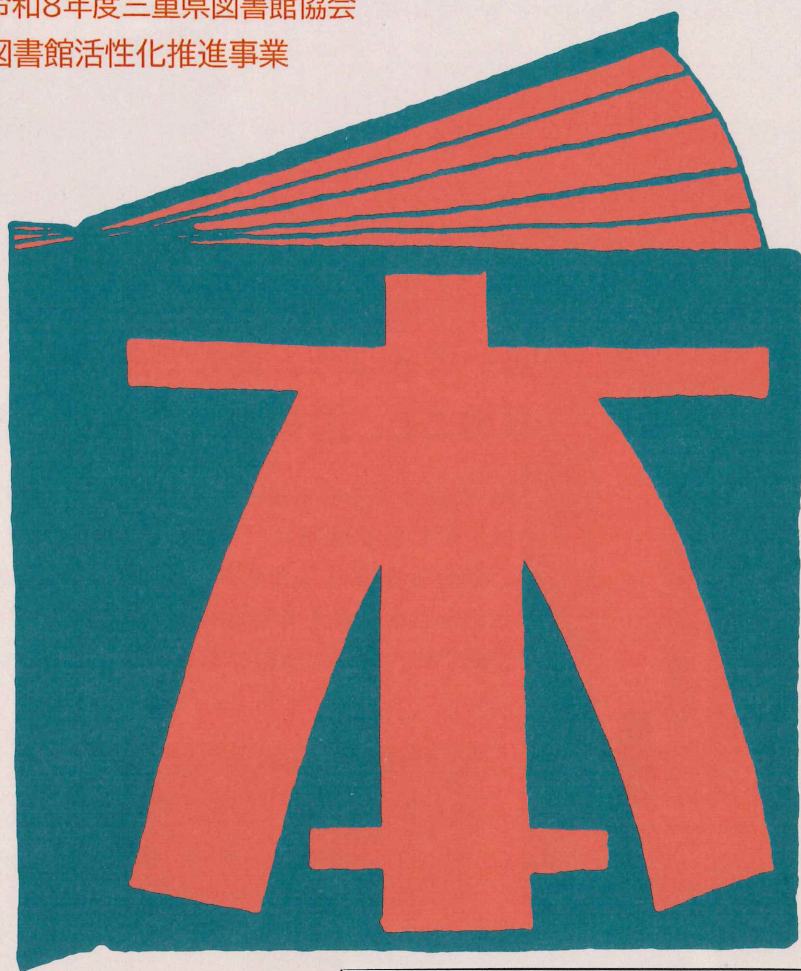
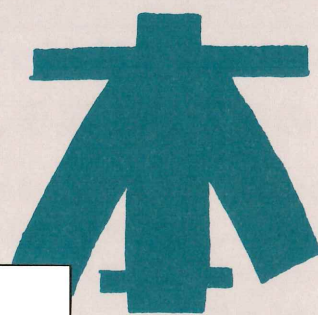




紀宝

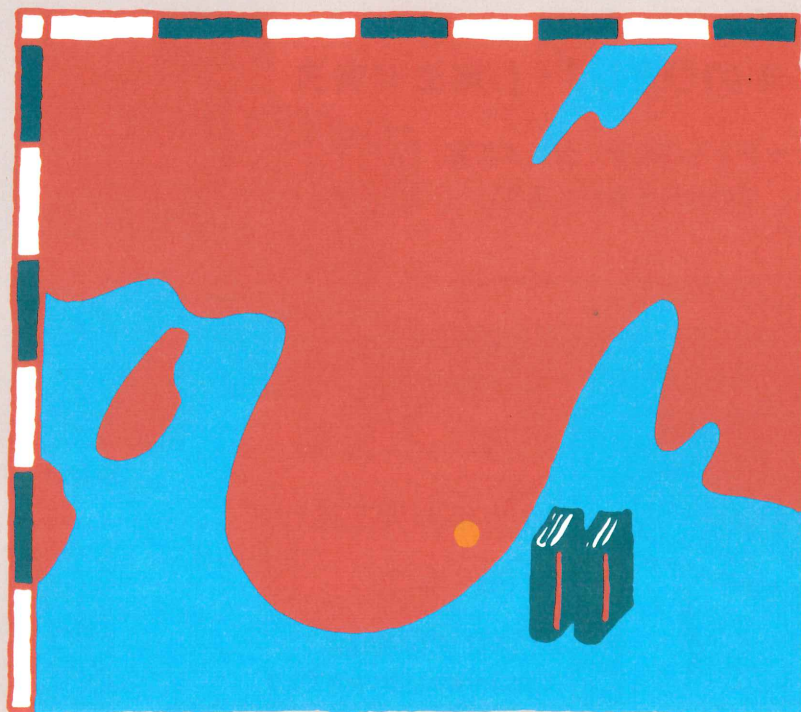


きほう ほん びより
紀宝 本日和

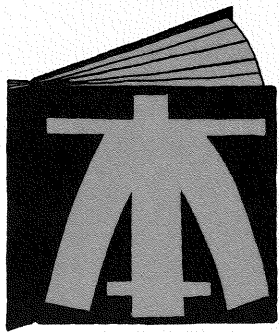
ひづけ 2026年11月3日(火) じかん 10:00~16:30

文化の日

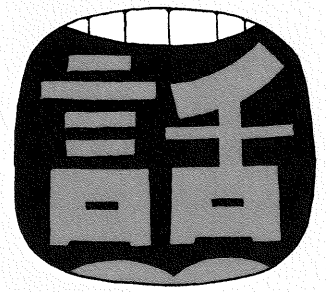
ところ
紀宝町立図書館



日和

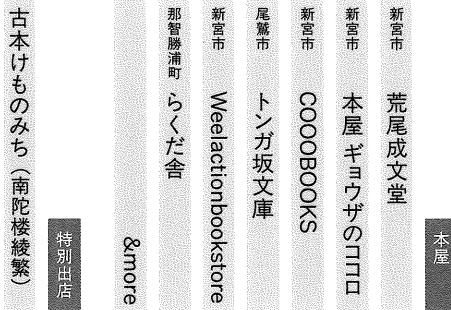


本とであい、人とであい、言葉を交わし合う。
たくさん読む人もぼちぼちの人も久しぶりの人も、
もちろん今まで読まなかった人も。
思い思いに、本との時間を気軽に楽しもう、
それがきっと、それぞれなりの「本日和」。



個性豊かな本屋が 図書館に集合

本との出会いの空間を作るのは、この日のために選ばれた本、選んだ本屋店主たち、そして来場者。少しでも特別な時間を、いっしょに過ごしましょう。



聞いてみよう、話してみよう 本のこと、図書館、本屋のこと

AI が目まぐるしく進化し続けるいま、紙の本は、本のある場所は、どうなるんだろう？ 本に関わる多様な人たちが入り混じり、来場者といっしょに考える時間になれば嬉しいです。予約不要。ぜひお気軽に足をお運びください。

13:00~13:30 ごろ

本屋店主がすすめる今日の一冊

本屋店主に、選書のテーマやお勧めの一冊を聞いていく、リレー形式のブックトーク

13:30~15:30 ごろ

やっぱり、本のある場所が必要だ！

～図書館、本屋、出版社、これまでとこれから～

南陀楼綾繁

話者

岸葉子

紀宝町立図書館館長

千葉智史

らくだ舎店主

全体進行 平野昌 ひらのまかく舎

南陀楼綾繁 (なんだろうあやしげ)

1967 年、島根県出雲市生まれ。ライター・編集者。「不忍ブックストリート」前代表。「石巻まちの本棚」の運営にも携わる。著書『本好き女子のお悩み相談室』(ちくま文庫)、『古本マニア採集帖』(皓星社)、『「本」とともに地域で生きる』(大正大学出版会)、『書庫をあるく アーカイブの隠れた魅力』(皓星社)、編著『中央線小説傑作選』(中公文庫) ほか。新刊『本のある場所を訪ねて』(教育評論社)

本とともに味わってほしい、 この日だけの菓子、珈琲

地元の酢や一冊の本から着想を得て作るスイーツ 2 種類。そして、「本を読む時間」をイメージしたブレンドコーヒー。この日だけの味わいを、ぜひ本といっしょに。



菓子

patisserie RaRe



コーヒー

庄司珈琲焙煎所



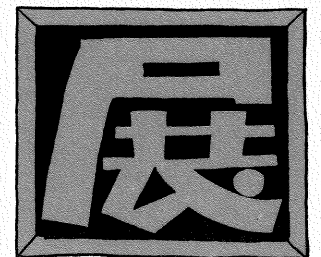
ちばたかこ・さく てんぐさ・え

『らくだがはこぶ本のひとしずく』誕生前夜展

てんぐさが描くラフスケッチとちばたかこが結ぶ言葉。
絵本を作る過程をひらき、その断片を展示します。

石花菜 (てんぐさ)

アーティスト。和歌山県に移住し、自給自足的な生活をしながら、絵などを制作している。
2026 年 9 月南方熊楠顕彰館にて展覧会「めくりはくり」開催。



きほう ほん びより
紀宝 本日和

ひづけ
2026 年 11 月 3 日 (火)

じかん
10:00~16:30 文化の日

ところ
紀宝町立図書館

三重県南牟婁郡紀宝町神内 277-2

詳細はこちら

インスタグラム
@rakudasha

